

今こそもう一度思いを届けよう

人という字は…と聞くと、つい昔の学園ドラマを思い浮かべてしまいます。人が生きている間に会う人の数は約3万人と言われ、そのうち会話を交わすことができる人は、僅か数名とされています。さて、ここで問題です。自分の人生を仮に約80年間だとした場合、いっしょは何日になるのでしょうか？そう、約3万日です。つまり、1日に1人は誰かと出会っているという計算になります。これを多いと感じるか少ないと感じるかは、人によってちがいがあると思いますが、思った以上に『出会いは限られている』ことに気づかされます。生きている期間が長く感じられると、出会いなど無限にあるのではないか、という錯覚をもってしまうのですが、大きな誤解のようです。こうした現実を理解すると、我々にとっての出会いがいかに貴重なものであるかが実感できるでしょう。今日の出会いと交わした会話は、たくさんある出来事のほんの一場面かもしれませんが、もしかしたらそれは不思議な運命がもたらしたある種の奇跡である…なんて言うと大げさに聞こえるかもしれませんが、そこに秘められた力強く生きていくためのヒントを、見逃してはいけません。もし、そういう出会いに遭遇した経験がないという人は、ぜひ人と人との間に注目してみてください。だって私達は、『人間』だから…

生徒指導専任より

